

# SAULI NIINISTÖ

President of the Republic of Finland (2012 – 2024)

LONDON  
SPEAKER  
BUREAU



## Topics

- Author
- Crisis Management
- Europe
- Finance
- Government
- Politics

サウリ・ニーニストはフィンランド共和国の第12代大統領でした。2012年3月1日に就任し、2018年1月に6年間の任期で再選されました。2期目の任期は2018年2月1日に始まりました。

サウリ・ニーニストは1948年8月24日、サロに生まれました。1974年にトゥルク大学で法学修士号を取得し、その後、地方警察署長を務めた後、10年以上にわたってトゥルク控訴裁判所の判事補を務めました。弁護士としても活動し、企業経営の経験を積みました。ニーニストの政治キャリアは、1977年にサロ市議会議員に選出されたことに始まり、1990年代まで地方自治体で公選職を務めました。

サウリ・ニーニスト氏は1987年に国会議員に初当選しました。国会議員在任中は憲法委員会の委員長を務め、1995年には法務大臣兼副首相に任命されました。1996年には財務省に移り、フィンランドで最も長く在任した財務大臣となりました。ニーニスト氏の任期開始当初は、1990年代の不況の影響が最悪で、失業率は過去最高を記録していました。しかし、これらの困難を乗り越え、フィンランドは力強い足取りで新世紀を迎えました。

サウリ・ニーニストは1994年から2001年まで国民連合党の議長を務めた。国内政治に加え、1998年から2002年まで、ほぼすべてのヨーロッパ諸国の中道右派政党が加盟する欧州民主同盟(EDU)の議長も務めた。EDUと欧州人民党(EPP)の合併に尽力し、EPPの第二名誉総裁に任命された。

2003年、サウリ・ニーニスト氏はルクセンブルクの欧州投資銀行(EIB)副総裁に就任しました。北欧諸国およびロシアにおける研究開発資金および資金調達活動を担当し、北方次元パートナーシップ・プログラムの議長を務めました。また、欧州復興開発銀行(EBRD)の理事および総裁、そして国際通貨金融委員会(IMFC)の委員も務めました。

サウリ・ニーニストは、2007年のフィンランド議会選挙で、候補者史上最多の得票数で再選を果たしました。彼は2007年から2011年まで議会議長を務めました。

ニーニスト大統領は2009年にジェニ・ハウキオと結婚し、2018年に息子アーロが誕生した。ニーニスト大統領には、前の結婚で生まれた成人した息子が2人いる。

ニーニスト大統領はスポーツ界でも活躍しており、2009年から2012年までフィンランドサッカー協会会長を務め、2009年ヨーロッパフィギュアスケート選手権組織委員会会長も務めました。著書も2冊あります。